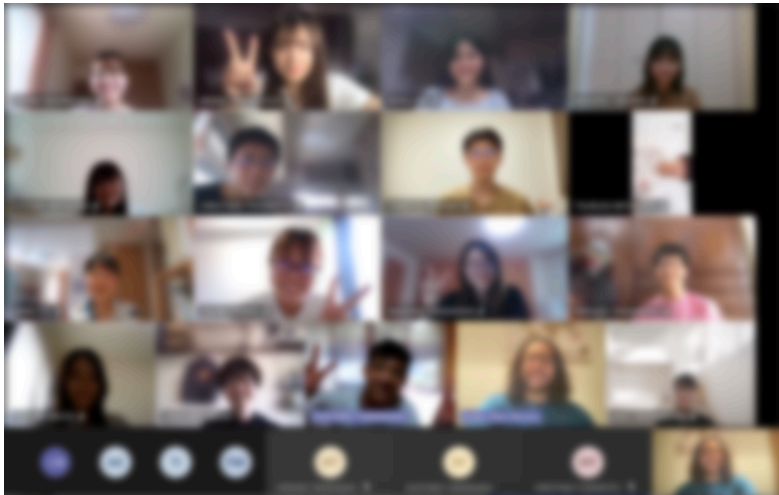


羽ばたけ! TUT2021 報告書概要

3 系

B4 年

参加プログラム名	Swinburne University of Technology English for Uni
研修期間	2021 年 8 月 16 日 ~ 2021 年 8 月 27 日
研修先機関名・ 所在国	スウィンバン大学・オーストラリア
<u>研修の概要</u> （研修テーマや課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いてください。）	English for Uni は 2 週間のオンライン英語学習プログラムであり、今回は日本人学生のみが参加していた。私は来年度 IMLEX プログラムに応募し、海外留学を考えているため、自分の英語スキルの向上と学習モチベーションの維持のためにこのプログラムに参加した。プログラムでは毎日の 3 時間の通常授業に加え、バーチャルホームステイセッションや、現地学生との交流を行うバディセッション等の様々なアクティビティが用意されていた。通常授業では主にリーディング中心の活動であり、頻繁にブレイクアウトルームが開かれ、学生同士で相談する時間が多くあったため、この時間でスピーキングの練習をすることができた。私はこのプログラムを通してスピーキングを中心に自分の英語スキルを向上させることができたと思う。一方でバーチャルホームステイセッションや博物館見学の際にネイティブスピーカーの喋りが早く、リスニングに関してはより一層練習が必要であると感じた。今後は 3 月に海外の産業イベントに出展する予定があるため、英語でのプレゼンに向けたスピーキングの練習に取り組むとともに、海外ニュースやドラマ等を継続的に視聴して楽しみながらリスニング能力を上げていきたい。今回のような英語学習のプログラムがあればまた参加したいと思う（渡航型なら尚更）。
<u>活動写真 1 枚</u> （修了証の写真でも可）	授業最終日の集合写真 

羽ばたけ! TUT2021 報告書

研修内容

① 参加の目的や動機

- 私は本学の大学院にて、IMLEX プログラムへ応募しようと考えている。採択されれば来年の9月から海外で自分の専攻を学ぶことになり、留学の前に自分の英語スキルを向上と、英語学習のモチベーションの維持に繋がればよいと思い、参加した。
- オンラインではあるが、現地の学生や同じプログラムに参加する国内外の学生と交流し、視野を広げたかった。

② 研修内容

- 通常授業
 - 平日 10 時 00 分～13 時 30 分 2 週間 Teams
 - 1 クラス 15 人程度
 - クラス全体で用意された資料の設問やグループワークに取り組む
 - ブレイクアウトルームが頻繁に開かれ、2, 3 名の学生で問題についてディスカッションする
- 現地学生との交流
 - 現地学生と交流するパディセッションというプログラムが2回あった
 - ブレイクアウトルームに分かれて、スインバン大学の学生と韓国の学生(詳細は知らないが、おそらく似たような英語学習プログラムに参加していた学生)とフリートークする時間
- A C M I バーチャルツアー
 - メルボルンにある Australian Centre for the Moving Image という博物館を zoom 上で紹介していただけるイベント
 - 博物館側の担当の方の英語がかなり早口で5割くらいしか理解できなかった
 - ただ、内容自体は面白く、メルボルンを訪れた際には行ってみたいと思った
- バーチャルホームステイ
 - 留学生を受け入れた経験のあるホストファミリーと zoom でつないで様々なアクティビティを行うセッション
- キャンパスツアー
 - メルボルンにあるスインバン大学のキャンパス内をカメラ越しに探索できるツアー
 - キャンパスの雰囲気や街並みを知れた
- メルボルンツアー
 - メルボルン市内や近くの観光名所について紹介してくれるツアー
 - クイーンヴィクトリアマーケットとグレートオーシャンロードが特に印象的だった
- ワークショップ
 - オーストラリアにある 6 つの州と 2 つのテリトリーについて、グループごとに分かれてその地域について紹介するセッション
 - N S W 州を担当したが、プレゼンを用意する過程でその地域についてより詳しくなれた
- Lecture: Global Business Culture

- スインバン大学の教授に世界の文化をテーマに講演していただいた
- 文化とは何かについて例題を通して学べた

③ 研修の成果、研修で獲得したもの、当初設定した行動目標の達成度、問題点

- スピーキング能力
 - 授業中やその他のアクティビティでも英語を話す機会が十分にあり、試行錯誤しながら自分の瞬時に出てくるボキャブラリーと表現を増やすことができたと思う。
 - 研修前に1日に3つ以上の会話表現を勉強し実践するという目標を立てた。今回のオンライン授業では授業中に表現を学ぶ機会は少なかったが、自分で様々な表現を取り入れて、ディスカッションの時間等で実践することができた。
- リスニング能力
 - 現地学生と話す機会が多くあり、彼らも気をつけてゆっくり話してくれていたと思うが、おおよそ聞き取ることができた。
 - 聞き取れなかった時の聞き返しも含めて、前回のモナシュ大学での経験よりもより自然に会話ができていたと思う。
- 英語学習へのモチベーション
 - 本プログラムをメインで運営していたスインバン大学の事務の方に大学での経験を伺う機会があり、自分も海外で様々な経験を積みたいと思うようになった。
 - また同じ参加者の日本人学生と留学のことや将来について話す機会もあり、参考になった。

④ 今後の目標、課題、当初設定した「研修後に実践する行動目標」の見直し

- 3月にはS X S Wへの出展が控えているため、継続して英語で会話する機会を作り、スピーキング能力を高めていきたい
- 聞き取れる英語のスピードを上げるために海外ニュースやドラマ等を継続的に視聴して楽しみながらリスニング能力を上げていきたい
- 今後技科大学内で渡航できる留学プログラムがあれば応募したいと思う

⑤ その他感想など

- 私が前回参加したモナシュ大学のオンライン授業プログラムと比較すると、通常授業の教材の充実さはモナシュ大学の方がよかったと思うが、バーチャルホームステイやバディセッション等はスインバン大学の方がアクティビティの種類が多くよかったと思う。
- プログラム期間中に、私と他の数人が中心になって学生でフリートークセッションを主催した。本プログラムの参加者が50人強であるのに対して、20人程度の学生が集まり授業時間外でも英語を使う機会を作ることができた。
- プログラム中に他の学生やスインバン大学の事務の方と話している中で、海外留学や海外研修の経験を多く聞き、自分が今までコロナ以前にそのような活動をしてこなかったことを後悔した。コロナで様々な活動が制限されている中、今後も自分で今可能な機会を見つけて積極的に挑戦していきたいと思う。